

大義・道理なし 橋下大阪市長の 辞職・出直し選挙

「都構想」破たんて無法な暴走

橋下徹大阪市長は2月3日、市長を辞職するとともに、出直し市長選挙に自らが出馬することを表明しました。理由は、1月31日の「都構想」にかかわる法定協議会で、橋下市長の提案が「維新」以外の全会派に反対され、「任期中に住民投票の案が示すことができなくなった」という大義も道理もないものです。昨年9月、「都構想」の是非が最大の争点になった堺市長選挙で維新公認候補が敗れ、すでに世論調査でも都構想「反対」が「賛成」を上回っています。

大義も道理もない辞職表明に対しては、住民の暮らし破壊の「大阪都構想」ノー、憲法違反を続ける維新政治ノーの立場から、広範な団体・住民との共同をさらにすすめます。



「都構想」にストップをかけ、維新政治を終わらせようと訴える「大阪都ストップ」の記者会見。共同闘争本部、事務局長の大原真大阪自治労連委員長(1月27日)



「都構想」NO 維新政治NOの共同をさらにすすめよう

豊中市医療保健センター労働組合 (かがやく労組)

書記長 山根 史雄さん

「労働組合の結成なくして職場は守れない」と、結成された豊中市医療保健センター労働組合(通称「かがやく労組」)。結成大会からまもなく丸2年をむかえます。サイクリング歴は20年以上という書記長の山根史雄さんに、サイクリングと組合活動について語ってもらいました。

「少しでも前に進む」 組合もサイクリングも気持ちは同じ



つがいけサイクルクラブ2012 6月10日

**サイクリングで
日常を「リセット」**

高校生の頃から20年以上もサイクリングを楽しんでいる。自転車に乗って走っていると気持ちよくなって健康にもなって行動範囲も広がる。2年前からは自転車でも山道を登るヒルクライムというレースにも出場し始めた。坂道を必死で登るのは苦しくてしんどい。けどなぜか理屈ぬきに楽しい。趣味を通じてストレスを発散。仕事の疲れも走ることでリセットできる。



2012年3月20日の結成大会。前列右から2人目が山根さん

**「いい仕事」に必要なのは
充分な人員と労働条件**

かがやく労組を立ち上げて2年。老人保健施設である職場はここ数年で人員削減が進んだ。老健施設での仕事は、早出や遅出や夜勤もあり体力的にも精神的にも非常にキツイ仕事だ。人を相手にするこの仕事は、人当たりの良さや

センスも必要だ。納得のいくいい仕事や質の高いサービスを実現するためには充分な人員とまともな労働条件が必要不可欠。社会を広くみて職場を冷静に見つめ、ひとつひとつ改善できよう労働活動も進めていきたいと思います。自転車と同じで少しでも前に進みたいという気持ちが大切だ。